

【報告基準日】

- ・ 平成26年3月1日

世界遺産一覧表記載資産 保全状況報告書

1. 資産名称

- ・ にっこう しやじ
日光の社寺

2. 所在地(都道府県及び市町村名)

- ・ とちぎけん にっこうし
栃木県日光市

3. 記載年

- ・ 1999年 (平成11年)

4. 評価基準

- ・ (i)、(iv)、(vi)

5. 資産の適用種別(記念工作物、遺跡、建造物群の別、文化的景観の適用の有無)

- ・ 遺跡、建造物群
- ・ 文化的景観の適用 有

6. 資産に影響を与える要因

3.1 建造物と開発

- 3.1.4 主な来訪者宿泊施設と関連するインフラ
周囲に宿泊施設が整備されている。

- 3.1.5 普及と来訪を促す施設
平成22年度に日光市サイン計画により案内標識が設置済である。

3.2 輸送インフラ

- 3.2.1 地上輸送インフラ
周囲に市営駐車場及び民営駐車場を整備している。

3.3 公共施設

3.3.1 水インフラ

資産所有者により水道施設が整備されている。

3.3.2 再生可能エネルギー施設

資産所有者により水力発電施設が整備されている。

3.7 物理的構造に影響を与える現地状況

3.7.2 相対湿度

高湿度による内外装への影響がある。

定期的な保存修理を実施している。

3.7.4 放射線／光

直射日光による外装への影響がある。

定期的な保存修理を実施している。

3.7.7 害虫

シロアリ類による建築物への影響がある。

定期的な保存修理を実施している。

3.7.8 微生物

カビ類による内外装への影響がある。

定期的な保存修理を実施している。

3.8 遺産の社会的／文化的活用

3.8.1 儀式的／精神的／宗教的及び共同活用

所有者の宗教法人により祭礼等が継続的に実施されている。

3.9 その他の人間活動

3.9.2 遺産の意図的な破壊

落書等の人的被害が懸念される。

所有者による定期的なパトロールを実施している。

3.10 気候変動と天災

3.10.1 暴風

落雷による周辺森林への被害が懸念される。

避雷針等の防雷施設を整備している。

3.11 生態学的あるいは地学的な突然の出来事

3.11.2 地震

地震の発生時の被害が懸念される。

定期的な保存修理を実施している。

3.11.6 火災

落雷による火災の発生が懸念される
避雷針等の防雷施設を整備している。

3.13 管理上及び制度上の要因

3.13.3 管理活動

温湿度、風向速、雨量を定期的に観測している。

7. 保存管理体制の状況

- ① 栃木県教育委員会事務局 文化財課
- 日光市教育委員会事務局 文化財課
- ② 「史跡 日光山内」保存・活用協議会

8. 保護措置

- 2008年（平成20年）登録資産全域と、緩衝地帯の一を日光市景観条例による景観計画重点区域に指定
- 2013年（平成25年）1月『史跡日光山内 整備活用計画』策定

9. 予算措置

（日光市）

- 平成25年度 4,869千円
- 平成24年度 1,823千円
- 平成23年度 940千円
- 平成22年度 454千円
- 平成21年度 441千円

（栃木県）

- 平成25年度 2,800千円
- 平成24年度 2,800千円
- 平成23年度 2,800千円
- 平成22年度 2,800千円
- 平成21年度 2,800千円

10. 来訪者の状況

(各社寺拝観券総数) (共通拝観券数：過年度報告数)

- 平成25年度 2, 144千人
- 平成24年度 1, 910千人
- 平成23年度 1, 659千人
- 平成22年度 2, 247千人 (2, 053千人)
- 平成21年度 2, 053千人 (2, 000千人)

11. その他

- 特に無し